

レアアース事業強化

マテリアル・トレイディング・カンパニー

40年 商 電池・磁石関連に拡大 10億円へ



小滝社長

マテリアル・トレイディング・カンパニー(東京都港区、小滝秀明社長、電話03-34457197)は、ランタンをはじめとするレアアース事業の深掘りに注力する。同社はガラス、触媒、蛍光体、セラミックスなどの用途で展開している。今後、日本のハイテク関連の大手企業が得意とする電池や磁石などに用途を拡大させる。また、近く荒精製のランタンを中国から輸入し、日本で

高純度化する「リ・レアアース プロジェクト」を立ち上げ、2012年7月期決算には年商40億円の達成を目指す。

10年8月の設立ながら、光学レンズや触媒用途でレアアースを供給し、初年度には10億円超の売上高を記録した。社長の小滝氏は、旧日製産業(現・日立ハイテクノロジ

ス)在籍時に日欧で化学品の輸出入を手掛けた。中国との取引は約30年前から開始。現地の複数のレアアースおよびレアメタルのサプライヤーと良好な関係を構築してお

り、レアアースの高騰時や供給不安時にも安定供給・価格競争力を維持した。ランタン、ネオジム、イットリウム、ガドリニウム、ジスプロシウムなどを取り扱う。加えて、サービス強化の一環としてレアメタルの取り扱いにも開始し、専門商社としての存在感を一層高めている。

また、拡大戦略として同社と国内大手企業が共同で進めるのが「リ・レアアース プロジェクト」だ。低純度の酸化ランタンを中国から輸入した後、日本で精製する。高品質とコスト競争力を兼備した高純度ランタンを国内ユーザーに供給し、光学ガラス用途などでの拡大に拍車をかける。同事業は昨年12月、東京都の経営革新計画に

認定された。さらに、電池および磁石向け用途の提案でレアアース事業を拡大するたため、ジスプロシウムをはじめとする中重希土の取り扱いを強化する。中国の複数のサプライヤーに加え、オーストラリアにも提携先を確保。安定供給能力を一層、高めている。

なお、その1社であるNorthern Minerals社のジョージ社長が14日に来日するのに合わせて、東京・田町カンファレンスセンターで「希土類会議シリーズ」中重希土のゆぐえ」と題してセミナーを開催(詳細は同社)。中国の新規輸出枠、日本の主要用途の現状などについて解説する。

流通ビジネス